

第5学年 国語

第5学年の学習到達目標

- (1) 目的や意図に応じ、考えた事や伝えたい事などを的確に話すことや相手の意図をつかみながら聞くことができるようにするとともに、計画的に話し合おうとする態度を育てる。
- (2) 目的や意図に応じ、考えた事などを筋道を立てて文章に書くことができるようにするとともに、効果的に表現しようとする態度を育てる。
- (3) 目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。

第5学年の主な学習内容

学期	単元名	学習のねらい	学習内容
前期	一 自分の思いが伝わるように声に出して読もう だいじょうぶだいじょうぶ本に親しもう	●表現の工夫を味わったり情景や心情を想像したりしながら、音読の工夫をする。	○表現の工夫や言葉のリズムを味わいながら声に出して読む。[声の調子と声の高低]
	メモを使って題材をさがそう	●連想によって言葉を広げ、書く題材を探す。	○「連想メモ」を書いて題材を探し、書きたい話題を決め、構成を考えて文章を書く。
	二 文章の構成を考えながら要旨を読み取ろう 動物の体と気候	●文章の構成を考えながら、要旨を読み取る。	○文章の構成を考えながら読み、読み取ったことをノートに整理し感想を発表する。
	ゲストティーチャーをすいせんしよう	●理由を明確にして、人物を推薦するための話をする。	○推薦する理由を挙げる際の観点や、推薦する話し方について話し合い、推薦者を決めて話す練習をする。
	三 物語の構成に気をつけて読もう 世界でいちばんやかましい音	●「設定」「展開」「山場」「結末」の部分を確認して、物語の構成をとらえる。	○四つの部分で起きた出来事を整理し、物語のあらすじをまとめる。
	意見とその理由を聞き取ろう	●ふさわしい理由を挙げて意見を述べているか、考えながら聞く。	○話例を聞いてメモを取り、理由がふさわしいものかどうか話し合う。 ○意見の理由がふさわしいものかどうか考えながら聞く練習をする。
	四 書き手の意図を考えながら新聞を読もう 新聞記事を読み比べよう	●二つの新聞記事を読み比べて、書き手の意図を読み取る。	○新聞の特徴や編集の仕方、記事の書き方などを理解する。
	立場を明確にして書こう	●自分の意見が分かりやすく伝わるように、立場を明確にし、構成を考えて書く。	○自分の考えやその根拠を明確にして、説得力のある文章を書く。
	古文を声に出して読んでみよう	●古文の冒頭を音読し、言葉の響きやリズムを味わうとともに、内容の大体を知る。	○「竹取物語」の冒頭、「徒然草」、「平家物語」を音読し、内容をつかむ。 ○古典作品への興味を広げる。
	パネル討論をしよう	●自分の立場を明確にして、相手の意図を考えながら話し合う。	○テーマを決めてグループに分かれ、パネル討論をする。
資料を読んで考えたことを書こう	●資料を生かして、自分の考えたことが伝わるように書く。	○資料の情報が効果的に生かされているかを考えながら書く。	
後期	一 物語のおもしろさを考えて読み味わおう 注文の多い料理店	●構成や表現の工夫に目を向けて、物語を読み味わう。	○物語の表現の工夫や人物の心情の変化について考えながら読む。 ○「注文の多い料理店」の中にある表現の工夫やおもしろさを探し、解説ノートにまとめる。[読書]
	ふしぎな世界へ出かけよう	●構成を考えて、場面の情景が伝わるように表現を工夫しながら筋道の通った物語を書く。	○四つの部分や物語の転換する部分（現実—ふしぎな世界—現実）を手がかりに、物語の構成を考える。
	二 森林について興味を持ったことを調べよう 森林のおくりもの	●題名や述べ方の工夫に注意して筆者の考えを読み取り、環境問題について関心を持つ。	○題名や述べ方の工夫に注意して、筆者の考えを読み取る。 ○図書資料を探して知りたいことについて調べる。
	三 ふさわしい方法を選んで発表しよう 気持ちを伝える言葉について考えよう	●内容や目的に合わせて、効果的な発表方法を工夫する。	○話の組み立てを工夫して話し、話の内容を正確にとらえて聞く。 ○気持ちを伝える言葉の使い方について分析する。
	敬語を適切に使おう	●敬語の種類や役割を知り、適切な使い方を理解する。	○敬語

後期	四 動物と人間のかかわりをえがいた物語を読もう 大造じいさんとがん	●一つの物語をきっかけにして、関連するテーマの本を読み広げる。	○動物と人間のかかわりをえがいた本を読み、友達に推薦したいものを一冊選び、本の帯を作って紹介しよう。
	五 活動したことを伝える文章を書こう 伝えよう、委員会活動	●目的に合わせて書くことを選び、構成を考えて書く。	○自分の考えを明確に伝えるために図表やグラフ、見出しなど表現を工夫する。
	わたしの「とっておきの一枚」	●組み立てを工夫して話し、話し手の思いをとらえながら聞く。	○組み立てメモをもとに、スピーチの練習をする。
	六 メディアとわたしたちのかかわりについて考えよう テレビとの付き合い方	●例と意見との関係に注意して筆者の考えを読み取り、読み取ったことをもとに自分の考えを書く。	○筆者が文章の中で示している図について考え、整理する。 ○いろいろなメディアや身の回りの情報について考えたことをまとめ、互いの考えを伝え合う。
	七 人間の生き方をえがいた伝記を読もう 手塚治虫	●伝記を読み、人物の考えや生き方について考える。	○伝記を読み、今の自分と将来の自分を照らし合わせて自分の生き方について考え、文章に書く。

評価の観点・方法

<p>(1) 評価の観点 それぞれ学習を進める中や学習後に評価します。</p> <p>【国語への関心・意欲・態度】 国語に対する関心を持ち、計画的に話し合ったり、適切に書いたり、幅広く読書したりしようとしている。</p> <p>【話す・聞く能力】 目的や意図に応じ、考えた事や伝えたいことなどを的確に話したり、相手の意図を考えながら聞いたりしている。</p> <p>【書く能力】 目的や意図に応じ、考えた事などを筋道を立てて文章を書いている。</p> <p>【読む能力】 目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読んでいる。</p> <p>【言語についての知識・理解・技能】 音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項について正確に理解している。</p>	<p>(2) 評価の方法</p> <p>① 児童が身につけた知識や理解・技能だけでなく、児童の学習意欲や思考力・判断力・表現力などの観点も大切にして評価します。</p> <p>② ペーパーテストだけでなく、日常の学習の様子、発表、ノート、作文、メモや発表原稿、朗読、読書の様子など様々な面から多面的に評価します。</p> <p>③ 学習の進行中に表れる児童の疑問や思いをその都度評価し、次の指導に生かします。</p> <p>④ 学習の仕方や理解の程度など、自分自身の内面の変容について児童が自己評価したものや、相互評価したものも参考にします。</p>
---	--

特色ある学習方法

<p>(1) 基礎学力の定着 話す・聞く・書く・読むなどの基礎的な力を身につけるために、繰り返しの学習を大切にしていきます。</p> <p>(2) 「伝え合う力」の育成 相手や目的、場面や状況に応じたさまざまな形態の学習（朗読発表会・意見発表会・読書発表会・ニュース発表会など）を設定し、伝え合う能力を高めていきます。</p> <p>(3) 主体的な学習活動 主体的に学習に取り組もうとする態度を育てるために、興味・関心をもった事柄や課題について、さまざまな方法で情報を集めて、それを整理し、分かりやすく説明したりまとめたりという活動を設定しています。課題設定のための話し合いをしっかりと課題を明確にし、個別で取り組んだり、グループで協力して学習を進めたりします。課題別の学習の最後には必ず交流の時間を設け、お互いのよい点を学び合います。</p>

使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書 「新しい国語 5年」(東京書籍)、漢字ドリル ○ 読書への関心を高め、自分の考えをより広げたり深めたりできるように、教科書教材と関連付け、同じ作者の作品や類似のテーマの作品を紹介し活用します。また、情報収集の一つとして、図書館の活用方法も学習します。 ○ 話し方や資料の見せ方などの表現方法を工夫させるためにも、自分の話している様子を録音・録画し振り返らせる場をもちます。
--

留意事項

<p>(1) 教科書を繰り返して音読することや、図書館などを利用して、できるだけたくさん本を習慣づけて読むことが「読む力」をつけていくことにつながります。音読の課題のあるときは、聞いてあげてください。</p> <p>(2) 身の回りの出来事や、テレビ・新聞から得た情報から自分の考えをまとめて話すという学習があります。家族でいろいろな話題について話し合う機会を持つと、自分の考えを話したり、他の人の意見を聞いたりして考えを深めていくきっかけになると思います。</p> <p>(3) 漢字練習の後には確かめをし、自分のまちがいに気づき、きちんと直すことで確実に力が定着します。</p>
